

2 収支の状況

(1) 収支概要

平成27年度純損失……▲90,081千円 →▲428,492千円(対前年度差額)
 (平成26年度純利益……338,411千円)

・収益については、入院・外来診療単価、外来患者数の増加により医業収益が増加したため、前年度比で約3%の増加となった。
 ・費用については、職員の増加に伴い給与費、医業収益の増加に伴い材料費等が増加し、また、すこやか棟建設等にかかる固定資産の取得による控除対象外消費税が増加したため、前年度比で約5%の増加となった。
 ・収支差については、約9千万円の赤字であった。

(2) 前年度比収支状況

(単位:億円)

	H26年度	H27年度	H27-H26	対前年度比	参 考
収益	216.2	223.1	6.9	103%	診療単価 (H26) (H27)
営業収益	214.0	220.7	6.7	103%	入院 75,659円 → 77,948円
うち入院収益	146.8	147.8	1.0	101%	外来 15,011円 → 16,023円
うち外来収益	49.6	54.5	4.9	110%	
うち運営費負担金	10.3	11.9	1.6	116%	患者数 (H26) (H27)
営業外収益	2.2	2.1	▲0.1	95%	入院 194,126人 → 189,315人
うち運営費負担金	1.5	1.4	▲0.1	93%	外来 329,128人 → 340,070人
臨時利益	0.1	0.3	0.2	300%	
費用	212.9	224.0	11.1	105%	一般病床利用率 (H26) (H27)
営業費用	203.1	212.3	9.2	105%	90.1% → 87.7%
うち給与費	95.0	99.6	4.6	105%	
うち材料費	59.5	63.6	4.1	107%	
うち経費	29.3	29.3	0.0	100%	
うち減価償却費	17.8	18.0	0.2	101%	
営業外費用	9.7	11.3	1.6	116%	
うち支払利息	2.2	2.1	▲0.1	95%	
うち控除対象外消費税	7.4	9.2	1.8	124%	
臨時損失	0.1	0.3	0.2	300%	
収支差	3.4	▲0.9	▲4.3	-	

※ 各項目において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

※ 前年度比較を可能にするため、営業収益及び営業費用の内訳においては重症心身障がい児施設によって発生した収益及び費用を除外している。

(3) 前年度比収支変動の主な要因

ア 営業収益

- うち入院収益 (1.0億円増) 診療単価の増加によるもの
- うち外来収益 (4.9億円増) 診療単価・患者数の増加によるもの
- うち運営費負担金 (1.6億円増) PICU増床に伴う増加によるもの

イ 営業費用

- うち給与費 (4.7億円増) 職員の増員によるもの
- うち材料費 (4.1億円増) 医業収益の増加によるもの
- うち減価償却費 (0.2億円増) すこやか棟建設等に伴う固定資産の増加によるもの

ウ 営業外費用

- うち控除対象外消費税 (1.8億円増) すこやか棟建設等にかかる固定資産取得によるもの